

SEKONIC

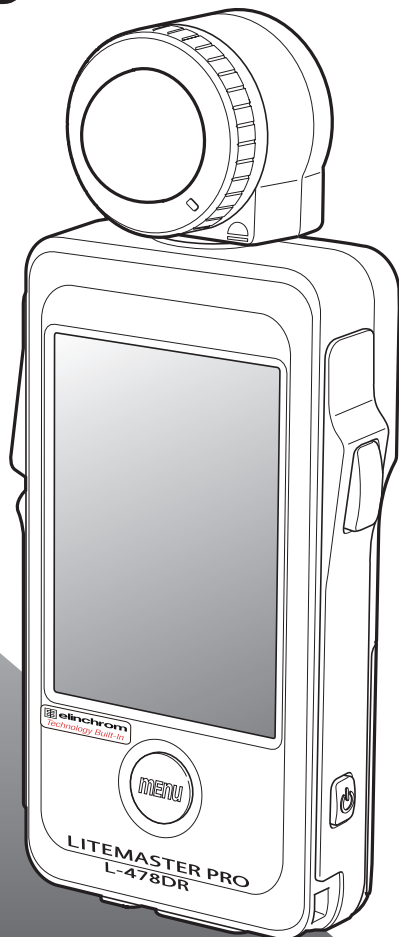
露出計

使用説明書

ライトマスタープロ

L-478DR-EL

 elinchrom®



本使用説明書はElinchrom® 専用の操作について説明しています。ご使用前に本使用説明書と安全上のご注意をよくお読みいただき製品の性能を十分ご理解いただいた後に取扱い及び保守をしていただくようお願いいたします。なお、本使用説明書と安全上のご注意はお手元に大切に保管してください。

目次

1 エリンクローム社 EL-Skyport システムについて	3
1-1. L-478DR-EL (エリンクローム社 EL-Skyport システム用) の使い方	3
1-2. 電源を入れる	3
1-3. EL-Skyport モードの設定	4
2 測定	5
2-1. 電波チャンネルとグループの設定	5
2-2. フラッシュ光電波モードの測定	6
2-2-1. フラッシュ光電波モードの使い方	6
2-2-2. フラッシュの光量調整	7
2-2-3. モデリングランプの調整と測光	8
2-3. フラッシュ光電波積算モードの測定	9
3 フラッシュ光電波モードのカスタム設定	10
3-1. カスタム設定機能	10
3-1-1. カスタム設定機能一覧	10
3-1-2. カスタム設定の方法	10
4 仕様	11
5 法的要求事項	12

1 エリンクローム社EL-Skyportシステムについて

1-1. L-478DR-EL (エリンクローム社 EL-Skyport システム用) の使い方

L-478DR-EL の電波モードをご使用になるには Elinchrom 社の EL-Skyport が搭載されたフラッシュが、受信機が必要です。フラッシュ光電波モードをご使用になれば、お一人でもフラッシュ発光や光量調整が容易に出来ます。L-478DR-EL に内蔵されている電波送信機はエリンクローム社の EL-Skyport システムにのみ対応しています。詳細については使用説明書をよくお読みください。

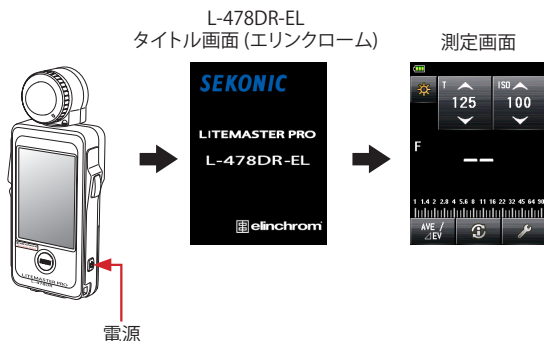
EL-Skyport についての詳細は www.elinchrom.com をご覧ください。

! ご注意

- ・ L-478DR-EL のフラッシュ光電波モードを確実にご使用いただくにはいくつかの注意点があります。下記手順をご覧ください。
- 1. 露出計は受信機（もしくはフラッシュ発光部）が見える位置で操作してください。
- 2. 受信機は大きな金属物やコンクリート、水分を含んだ物体（人体等）から離して設置してください。
- 3. 他の電波との干渉や電波を妨害・吸収する障害物の影響等で、適切な電波受信ができない場合があります。位置をわずかに変えるだけで受信が可能になる場合がありますし、うまくいかない時は受信機がコンクリートや金属、勾配等の電波を妨害・吸収する障害物の陰になっていないか確認してください。
- 4. 動作の推奨受信距離は 30 メートル以内です。フラッシュ光電波モードの動作距離は露出計と受信機の向きや位置によって変わります。

1-2. 電源を入れる

電源ボタンを 1 秒以上押すとタイトル画面が表示されます。



1-3. EL-Skyportモードの設定

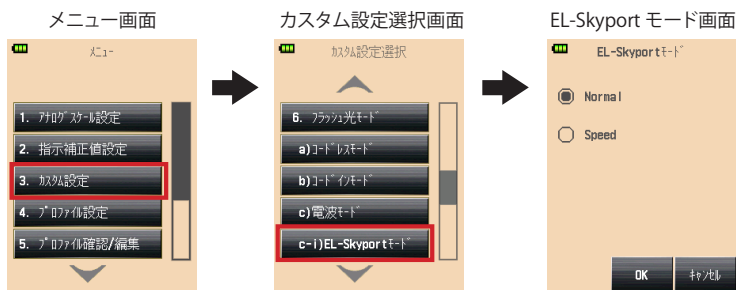
EL-Skyport 受信機の設定に応じて Normal (ノーマル) モードあるいは Speed (スピード) モードを選択してください。

1) 本体のメニューボタンを押しメニュー画面を開きます。

2) [3. カスタム設定] をタッチし、カスタム設定選択画面の [6. フラッシュ光モード] の下にある [c-i) EL-Skyport モード] をタッチします。



3) Normal (ノーマル) モードもしくは Speed (スピード) モードをタッチして選択します。



4) 選択後 [OK] をタッチすると設定が完了しカスタム設定選択画面に戻ります。 [キャンセル] をタッチすると設定は変わらずにカスタム設定選択画面に戻ります。

5) カスタム設定選択画面で本体のメニューボタンを押すとメニュー画面に戻り、再度メニューボタンを押すと測定画面に戻ります。

6) 選択された EL-Skyport のモードは測定画面上に表示されます。

- Normal** EL-Skyport Normal (ノーマル) モード
- Speed** EL-Skyport Speed (スピード) モード

EL-Skyport モード →

測定画面
(フラッシュ光電波モード)




! ご注意

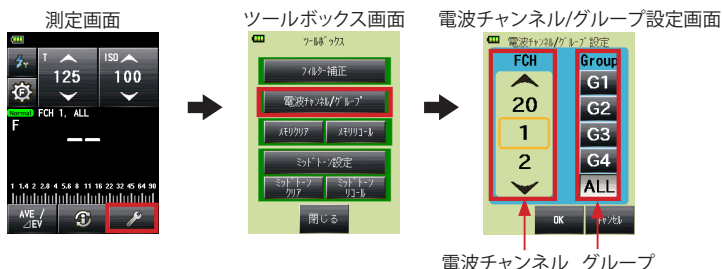
●露出計本体と、EL-Skyport システム内蔵フラッシュもしくは受信機は、同じモード (ノーマルモードもしくはスピードモード) に設定してください。

2 測定

2-1. 電波チャンネルとグループの選択

EL-Skyport で使用する電波チャンネルとグループの設定を行います。

- 1) 右下のツールボックスアイコン () をタッチしツールボックス画面を表示させます。
- 2) [電波チャンネル/グループ] をタッチし、電波チャンネル/グループ設定画面を表示させます。
- 3) 矢印▲/▼をタッチ、もしくはスライド操作で1～20の「FCH」(電波チャンネル)を選択します。
- 4) グループボタン(G1, G2, G3, G4) もしくは ALL ボタンをタッチし、設定したいグループを選択します。
* グループはパワーコントロール画面から選択することも可能です。
- 5) [OK] をタッチすると設定が確定され測定画面に戻ります。[キャンセル] をタッチすると設定は変わらずに測定画面に戻ります。



! ご注意

- 露出計本体と、EL-Skyport 搭載フラッシュもしくは受信機は、同じ電波チャンネルとグループに設定してください。

ご参考

- EL-Skyport システムでは G1, G2, G3, G4 もしくは ALL のいずれかを選択することが可能です。
- パワーコントロール画面もしくは電波チャンネル/グループ設定画面で最終的に選択されたグループが測定時に有効となります。

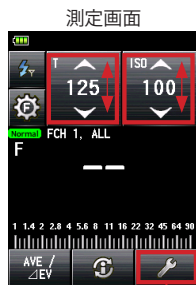
2-2. フラッシュ光電波モードの測定

2-2-1. フラッシュ光電波モードの使い方

- 1) 測定画面左上の (☀️) アイコンをタッチし、測定モード選択画面を表示させます。フラッシュ光電波モードアイコン (⚡️) をタッチし選択します。



- 2) ISO 設定ボタンを操作しご使用になる ISO 感度を選択します。
- 3) シャッター速度設定アイコンを操作しご使用になるシャッター速度を選択します。
- 4) 露出計本体と受信機のチャンネルおよびグループ設定が同じであることを確認してください。
* グループ選択はパワーコントロール画面もしくはツールボックス画面で設定できます。
- 5) 測定ボタンを押しフラッシュを発光させると、測定値 (絞り値) が表示されます。





ツールボックス



! ご注意

- フラッシュ光を測定する際、フラッシュの光量が環境光より 8EV 以上低い場合は、光を感知しない場合があります。その場合はフラッシュ光コード接続モードで測定してください。(詳細は L-478 シリーズ使用説明書をご参照ください。)
- ラピッドスタート型蛍光灯や特殊な照明下では、まれにこれらの点滅やリッカー現象をフラッシュ光として判別し測定してしまうことがあります。その場合はフラッシュ光コード接続モードで測定してください。(詳細は L-478 シリーズ使用説明書をご参照ください。)
- フラッシュバルブ (閃光電球) は発光波形がなだらかなため、コードレス測定では光を感知しない可能性があります。その場合はフラッシュ光コード接続モードで測定してください。(詳細は L-478 シリーズ使用説明書をご参照ください。)

2-2-2. フラッシュの光量調整

- 1) 測定画面左上にある測定モードアイコンをタッチし、測定モード選択画面でフラッシュ光電波モード () を選択します。
- 2) 測定画面のパワーコントロールアイコン () をタッチし、パワーコントロール画面を表示させます。
- 3) パワーコントロール画面 **3** のグループボタン (G1 ~ G4) を選択し測定ボタンを押すと、選択したグループのフラッシュ光のみの測定が可能です。



パワーコントロール画面

- 4) 測定された値は画面の一番上 **1** と選択したグループの上 **2** に表示されます。 **4** の [+] ボタン [-] ボタンをタッチすることにより選択したグループのフラッシュの光量を調整できます。調整、設定した光量は **5** に表示されます。

* +/-9.9 step まで調整することができます。


* 光量調整後、新たな測定、他のグループを選択、電源 ON/OFF を行った場合は先に設定した光量調整設定は0に戻ります。



選択した (EL-Skyportモード、電波チャンネル シャッター速度、ISO感度) を表示

- 5) それぞれのフラッシュの光量が適当な値になるように、3) と 4) の操作を繰り返します。
- 6) [ALL] ボタンをタッチし測定ボタンを押してください。それぞれのグループの照明比が固定されトータルの露出は **1** に表示されます。
- 7) [ALL] を選択したまま、 **4** の [+] アイコン [-] アイコンをタッチすると、照明比は固定された状態でトータルの光量の調整ができます。

* 適当なグループ選択をした後に、必要に応じてモデリングランプのオン/オフアイコン () をタッチしてください。

* ISO 感度とシャッター速度を設定するには、フラッシュ光電波モードアイコン () を押して測定画面に戻ってください。

パワーコントロール画面



2-2-3. モデリングランプの調整と測光

- 1) パワーコントロール画面の右下にあるモデリングランプ調整アイコン (☼) をタッチし、モデリングランプ調整画面を表示させます。
- 2) **3** の (G1 ~ G4) のグループアイコンを選択後、モデリングランプオン/オフアイコン (☼) をタッチし、選択したフラッシュのモデリングランプを点灯させます。
- 3) 測定ボタンを押し、選択したグループのモデリングランプの光量を測定します。
- 4) 測定された値は画面の一番上 **1** と選択したグループの上 **2** に表示されます。 **4** の [+] アイコン [-] アイコンをタッチすることにより選択したグループのモデリングランプの光量を調整できます。調整、設定した光量は **5** に表示されます。

* +/-9.9 step まで調整することができます。

* 光量調整後、新たな測定、他のグループを選択、電源 ON/OFF を行った場合は先に設定した光量調整設定は 0 に戻ります。

- 5) 測定ボタンを押し、モデリングランプの光量が適当な値であるかを確認してください。
- 6) それぞれのモデリングランプが適当な値になるように、2) ~ 5) の操作を繰り返します。
- 7) [ALL] ボタンをタッチし測定ボタンを押してください。それぞれのグループの照明比が固定されトータルの露出は **1** に表示されます。
- 8) [ALL] を選択したまま、 **4** の [+] アイコン [-] アイコンをタッチすると、照明比は固定された状態でトータルの光量の調整ができます。

* 適当なグループ選択をした後に、必要に応じてモデリングランプのオン/オフアイコン (☼) をタッチしてください。

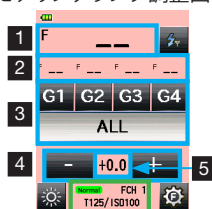
* ISO 感度とシャッター速度を設定するには、フラッシュ光電波モードアイコン (📡) を押して測定画面に戻ってください。

* 再度パワーコントロール画面に戻るには、パワーコントロールアイコン (🔌) をタッチしてください。

パワーコントロール画面

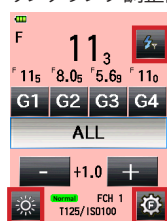


モデリングランプ調整画面



選択した (EL-Skyport モード、電波チャンネル シャッター速度、ISO 感度) を表示

モデリングランプ調整画面



ご参考

- モデリングランプ調整画面での光量測定は定常光モードで行われます。

2-3. フラッシュ光電波積算モードの測定

- 測定画面左上の(☀️)アイコンをタッチし測定モード選択画面を表示させます。フラッシュ光電波積算(マルチ)モードアイコン(⚡️ MLT)をタッチし選択します。

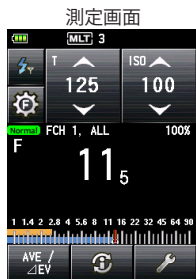


- ISO 設定ボタンを操作しで使用になる ISO 感度を選択します。
- シャッター速度設定アイコンを操作しで使用になるシャッター速度を選択します。
- 露出計本体とレシーバーのチャンネルおよびグループ設定が同じであることを確認してください。
* グループ選択はパワーコントロール画面もしくはツールボックスで設定できます。
- 測定ボタンを押しフラッシュを発光させると、測定値が表示されます(絞り値)。
- ご希望の積算値(絞り値)になるまで5)の操作を繰り返してください。
* アイコンをタッチするとパワーコントロール画面が表示されますが、積算測定は出来ません。



!ご注意

- フラッシュ光を測定する際、フラッシュの光量が環境光より8EV以上低い場合は、光を感知しない時があります。その場合はフラッシュ光コード接続モードで測定してください。(詳細はL-478シリーズ使用説明書をご参照ください。)
- ラピッドスタート型蛍光灯や特殊な照明下では、まれにこれらの点滅やリッカー現象をフラッシュ光として判別し測定してしまうことがあります。その場合はフラッシュ光コード接続モードで測定してください。(詳細はL-478シリーズ使用説明書をご参照ください。)
- フラッシュバルブ(閃光電球)は発光波形がなだらかなため、コードレス測定では光を感知しない可能性があります。その場合はフラッシュ光コード接続モードで測定してください。(詳細はL-478シリーズ使用説明書をご参照ください。)



3 フラッシュ光電波モードのカスタム設定

3-1. カスタム設定機能

ご希望に合わせて機能や表示方法をあらかじめ設定しておくことができます。
L-478DR-EL（エリンクローム社 EL-Skyport システム用）のカスタム設定は以下の要領で行ってください。

その他のカスタム設定については L-478 シリーズ使用説明書をご参照ください。

3-1-1. カスタム設定機能一覧

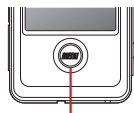
設定番号	カスタム設定名	項目			初期設定
6	フラッシュ光モード ^{*1}	On	Off	-	On
c)	電波モード ^{*1,2}	On	Off	-	On
c-i)	EL-Skyportモード ^{*2}	Normal	Speed	-	Normal

*1 フラッシュモードがオフに設定されている場合は、コードレスモードから積算モードまでのすべてのサブ設定は選択できません。

*2 電波フラッシュモードがオフに設定されている場合は、サブ設定 c-i) EL-Skyport モードは選択できません。

3-1-2. カスタム設定の方法

- 1) 本体のメニューボタンを押してメニュー画面を開きます。
- 2) [3. カスタム設定]をタッチし表示される選択画面の[6. フラッシュ光モード]の下にある[c-i) EL-Skyport モード]をタッチします。
- 3) Normal（ノーマル）モードもしくは Speed（スピード）モードをタッチして選択します。



メニューボタン



- 4) 選択後[OK]をタッチすると設定が完了しカスタム設定選択画面に戻ります。[キャンセル]をタッチすると設定は変わらずにカスタム設定選択画面に戻ります。
- 5) カスタム設定選択画面で本体のメニューボタンを押すとメニュー画面に戻り、再度メニューボタンを押すと測定画面に戻ります。

4 仕様

電波チャンネル周波数（チャンネル1～20）

チャンネル	周波数/MHz
1	2456
2	2458
3	2460
4	2462
5	2469
6	2471
7	2473
8	2475
9	2478
10	2449
11	2444
12	2439
13	2434
14	2429
15	2424
16	2419
17	2414
18	2410
19	2407
20	2404

グループ：1～4

EL-Skyport モード：Normal（ノーマル）モード、Speed（スピード）モード


電波通信距離：30メートル（100 フィート）

！ **ご注意**

- 電波システムの動作距離は本体や受信機の方向や場所によって異なります。

5 法的要求事項

本製品は下記の法的順守事項に準拠しています。

仕向け地	規格	詳細	
欧州	CE	SAFETY	EN60950-1
		EMC	EMS : EN55024 EMI : EN55022 EN55032
		無線	RE Directive, RED EN300 440-2 EN301 489-1 EN301 489-17 EN62479
	環境関連	WEEE (欧州)	
北米	FCC (US)	EMC : FCC Rules Part15 SubpartB ClassB 無線 : FCC Rules Part15 SubpartC	
	IC (Canada)	EMC : ICES-003 無線 : RSS-210	
日本	環境関連	容器包装リサイクル法	
	電波法 	電波法38条の24第1項の規定に基づく工事設計認証	

株式会社 セコニック

〒 178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14
TEL 03-3978-2366 FAX 03-3922-2144
<http://www.sekonic.co.jp>

©2015-2018 SEKONIC CORPORATION All Rights Reserved.

JR5097650
MAY 2018